

## 銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● E-mail: ga-tpc@ginza.co.jp

● このNEWSLETTERは、銀座通連合会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています ●

8月3日、教文館ウェンライトホールにて、シンポジウム・商店街としての銀座を考える1「にぎわいを呼ぶまちづくり」が開催されました。基調講演は、京都府立大学助教授の宗田好史さん。パネルディスカッションに、

NTT都市開発の渡辺敏幸さん、銀実会理事長の渡邊新さん、コーディネーターに、銀座街づくり会議にご協力いただいている慶応大学助教授の小林博人さんをお迎えして、120席の8割方が、銀座の街の人で埋まりました。



### 商店街としての銀座を考える1

## にぎわいを呼ぶ

## まちづくりとは?

**宗田好史**さんは、イタリアと京都で

業態の変化、交通量、地価の変化等をきめ細かく調査・データ分析するなかでまちづくりを研究し実践してこられました。そういった数値を具体的にあげながら、業態がモノからサービスへ変わりつつあること。商売をするときの考え方として、展示・店舗・商店街という単位だけではなく、これからはもっと大きな地区や都市として考えていかなければならないこと。そのためには商売においても一店舗だけではなく、都市計画、交通計画をひまえたうえでのソフト面を考えていくことが重要であることをお話してくださいました。

続くパネルディスカッションでは渡辺敏幸さんから、京都において歴史的建造物を「コンバージョン」して再開発し成功した「新風館」の事例が紹介されました。長い間そこに建ち、人々の思い出のなかの風景となっていた建物を大切に扱いながら、同時に革新的な商売をそこで展開していくことによって、自分だけの商売や敷地内だけの経済効率ではなく、地域全体が活性化し、まちといっしょに発展していく貴重な事例

です。

渡邊新さんは現在、銀実会において、まちづくりについて熱心に議論し、聞き書きをすすめるながら、銀座の将来ビジョンを描こうとしています。人口減少がすすみ、業態が変化していくなかで銀座をこれからも繁栄させていくためにはどうしていったらいいのか。何を課題としていくべきか。銀座はキラキラと輝く小さな星の集まりであるといふことをあらためて感じさせられました。

### 違いをひまえる 銀座の意思を

京都と銀座はともに、伝統がありながら新しいものを常に取り入れてきた街です。圧倒的に歴史の長い京都は、実はまちづくりに革新的なアイデアを取り入れてきた街でもあります。また、小さい店舗が集積していること、観光地であることも、両者の共通点としてあげられます。老舗と新しい店舗との関係も共通する課題です。どちらも町会や通り会等、人的つながりが強い街でもあります。

一方、京都にはローカルな金融があり経済ネットワークがありますが、銀座は東京全体の経済のなかに翻弄されやすい。また地価がまったく違います。土地の価値にたいして今後の再開発をどうするか、といったことには違いが出てきます。

他のまちとの共通点・相違点をひまえたうえで、業態の変化、交通量、地価等々を調査することは、今後のまちづくりでおおいに参考になると思われます。全国のお客様が、最高の商品を求めて集まる銀座においては、全国のお客様の視点も大切です。

歴史を振り返ってみると、江戸の町人地においては土地の売買や建物の建て替えに、面隣や町内会の許可が必要だったり、土地をまちで買い支える仕組みがあったように、まちの事業者が自らの力でまちを管理してゆくのには、近年までごく当たり前のことでした。銀座も自らの意思をもち、人と人のつながりを大切にしながら、まちづくりをしていくことの大切さが確認されました。

### ビデオ貸し出し

「NIPPON」のビデオを貸し出しております。

すでに社内研修等に利用されています。

ぜひ町会や各店舗での勉強会にご利用ください。

※お問い合わせは、銀座街づくり会議まで。  
(頭に連絡先がのっています。)

※議事録も作成しております。ご希望の方は、  
「報告致しますので、ぜひお待ちください。」